| 科目名 | 疫学<br>Epidemology | 担当教員<br>（研究室番号） | 西口 裕（非常勤） | 教員への連絡方法<br>（メールアドレス） | |
|---|---|---|---|---|---|

| 履修<br>年次 | 2年次<br>後期 | 科目<br>区分 | 専門支持科目 | 選択<br>区分 | 必修 | 単位数<br>（時間） | 1(15) | 授業<br>形態 | 講義 | 科目等<br>履修生 | 否 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | ｵｰﾌﾟﾝｸﾗｽ | 否 |

| | | |
|---|---|---|
| 科目<br>目的 | 根拠に基づく看護活動の基礎である疫学について学ぶ。疫学の原理を理解することは、科学の方法論における重要な基礎を身につけることに役立つ | |
| ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ<br>（DP） | 主要なDP | B　人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解））<br>E　地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断） |
| | 関連するDP | |
| 到達<br>目標 | １）　疫学とは何かその取り扱う分野について説明できる<br>２）　疫学の基本的な用語が説明でき、疫学的な因果関係の考え方が説明できる<br>３）　疾病頻度の表し方、曝露の効果を表す指標が説明でき、具体的な事例で計算し説明できる<br>４）　スクリーニング検査、疫学調査方法のデザイン、疫学調査の質（母集団、標本、真実と誤差、交絡など）が説明できる<br>５）　疫学調査の倫理、インフォームドコンセントについて説明できる | |

| | |
|---|---|
| 成績評価方法<br>（基準） | 出席・授業態度(16%)、ミニテスト（14%）、試験（70%） |
| 再試験の有無と<br>基準等 | 科目の合否結果で不合格になった者には、当該学生からの申請があれば再試験を実施する。再試験は筆記試又はレポート課題の提出により行う |
| 教科書 | 特に指定しない。 |
| 参考書等 | 厚生白書（令和7年版）、国民衛生の動向（2024 /2025 ）、基礎からわかる看護疫学入門（第三版：医歯薬出版） はじめて学ぶやさしい疫学（改訂版：南江堂）、ロスマンの疫学（第二版：篠原出版社）演習問題で学ぶ疫学（南山堂） |
| 学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待 | 新型コロナウイルスパンデミックなど新興感染症対策に科学的根拠を与える学問の一つが疫学です。社会にあふれる健康情報の正しさ誤りに目をむけること。講義でわかりにくいことがあれば、その場でどしどし質問してください |
| 備考 | |

| 回 | 学習項目 | 学習内容 | 主担当<br>教　員 | 授業<br>方法 |
|---|---|---|---|---|
| １回 | 保健・疫学の歴史を読み解く、疫学の概念について | 健康（保健）やその対応についての歴史的な変遷を概説し、疫学とは何かその取り扱う分野について学ぶ | 西口 | 講義 |
| ２回 | 疫学の基本的な用語を理解、疾病の原因、疫学的な因果関係の考え方について | 疫学の基本的な用語（疾病構造、疾病・健康事象、曝露、危険因子、予防因子など）を理解するとともに、曝露と疾病の関係など疫学的な因果関係の考え方について学ぶ | 西口 | 講義 |
| ３回 | 疾病の発生原因の解明とその流れについて | 疫学調査の三段階（観察、分析、実証）について具体的な事例をあげて概説し、疫学研究の流れ、相関関係と因果関係、疫学調査の倫理、インフォームド・コンセントについて学ぶ | 西口 | 講義 |
| ４回 | 集団の健康状態の把握方法１ | 集団の健康状態の把握に用いられる指標（頻度の測定）、割合、率、罹患率、累積罹患率などについて具体的な事例をあげ概説する | 西口 | 講義 |
| ５回 | 集団の健康状態の把握方法２ | 第4回に引き続き、頻度の比較、相対危険、寄与危険、オッズ比について具体的な事例を取り上げ概説する | 西口 | 講義 |
| ６回 | 疫学調査方法の種類とその手順について | 疫学調査の基礎である、調査対象の選択、分母の選定方法、標本の抽出方法、分子の把握方法、疾病予防とスクリーニングについて概説する。また、疫学調査方法（生態学、横断、記述、分析、介入）の種類とその特色について概説する | 西口 | 講義 |
| ７回 | 疫学調査方法の実際１ | 症例対照研究、コホート調査、介入研究の具体的な進め方について概説する。疾病頻度に関わる公的統計調査について概説する。 | 西口 | 講義 |
| ８回 | 疫学調査方法の実際２ | 疫学調査の信頼性と妥当性について概説し、系統誤差（バイアス）、交絡因子と判定方法・調整方法についても理解を深める。疫学で用いられる統計学の基礎（（データの要約、推定、検定等）について概説する。 | 西口 | 講義 |

| 学　習　課　題 |
|---|
| １）各講義の演習問題については講義終了後復習をかねて演習をしておくこと |
| ２）第5回講義前にミニ試験を実施する。それまでに、第１から第４講義について復習しておくこと |
| ３）全講義終了後に演習問題集を配布するので試験対策に活用すること |

| 実務経験を活かした教育の取組 |
|---|
| |